廣報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 上浦印刷所

健全財政の確保と住民所得の向上

2億2640万円 —41年度予算—

昭和四十一年度の本町の一般会計予算は、総額二億二六四〇万円が計上されました。予算編成にあたっては、不要、不急の経費を廃し、極力経費の重点化、効率化につとめるとともに、投資的経費については、事業の経済効果に意を用い、年度途中における大巾な補正はしない方針のもとに年間予算とされたのが本年度予算の特長です。

歳入

◇町税 一、九七五万円
町民税四九〇万円、固定資産税九一四万、電気ガス税一四八万円、たばこ消費税三七四万円などが計上されています。

◇地方交付税 八、一二〇万円
人口諸施設等に対し国が定めた基準の必要経費に対し自己財源で不足する額を国が交付金として交付されるものです。

◇分担金及負担金 二、〇三六万円
保育所保護者負担金二六六万円、中ノ浜農道受益者負担金八五一万円、川永田農道受益者負担金四二四万、大浜浜農道受益者負担金二一万円、九町漁港局改受益者負担金二五万円、伊方港局改受益者負担金四五万円などが計上されています。

◇国庫支出金 三、八七二万円
民生費六一四万円、労働費四八六万円、教育費八四三万円、災害復旧費一、四〇一万円、農林水産業費一、九八六万円、土木費三〇〇万円などが計上されています。

◇県支出金 二、九八六万円
民生費三〇一万円、衛生費八八万円、農林水産費三、三五三万円、土木費二、二四万円、などが計上されています。

◇議会費 四二六万円
議員報酬、職員給与諸手当、旅費などが主なものです。

◇総務費 二、六七九万円
職員給与、諸手当、文書広報活資のための利子補給、農業近代化資金利子補給、農道構改善対策費（中ノ浜農道新設）林道開設海岸保全事業（九町漁港局部改良、九町漁港海岸保全事業）などが計上されています。

◇民生費 二、〇六四万円
保育所運営に要する経費、町民の福祉、民生委員会の運営に要する経費、国民年金事務費、隣保館計上されています。

◇商工費 七五万円
堂々山公園の揚水施設費などが計上されています。

◇土木費 二、八〇五万円
町道滝ケ池線改良工事、国県道県営工事負担金、部落営町道新設工事費補助金、桟橋改良工事、伊方港局改良工事、伊方港局改修材費などが主なものです。

◇消防費 二三六万円
消防団員の報酬、団員の制服購入費などが計上されています。

歳出

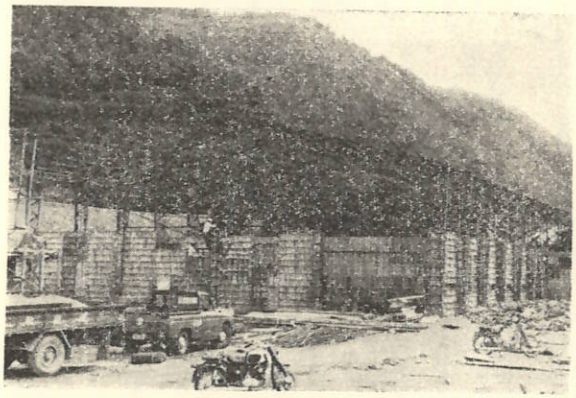
◇衛生費 四四三万円
母子健康センター、助産所の運営に要する経費、町民の生活環境をよくしたり健康を守るための、いろいろの予防接種を行なう費用が計上されています。

◇労働費 八八七万円
失業対策事業に要する、資材費、賃金、給料などが主なものです。

◇農林水産業費 五、二六〇万円
農業委員会運営に要する経費、農業振興のための委託料、災害融資金、農業近代化資金利子補給、農業構改善対策費（中ノ浜農道新設）林道開設海岸保全事業（九町漁港局部改良、九町漁港海岸保全事業）などが計上されています。

◇災害復旧費 一、九七八万円
川永田農道、田ノ浦防波堤、豊ノ浦護岸、島津防波堤、町道四二号線、伊方港中ノ浜防波堤などの事業費が計上されています。

◇教育費 三、三八五万円
教育委員会の運営に要する経費、町内小、中学校の教材器具、図書など社会教育、公民館活動に要する経費、又学校建設費（伊方中学校体育館）スクールバス購入費などが計上されています。



伊方中学校体育館
＝完成間近か＝

長年の懸案であった伊方中学校体育館が、十月末完成を目標に、去る六月二十日着工しました。

体育館は大建設計工務の設計によるもので鉄骨平屋建八四九平方米、工事費一七〇〇万円で工事施行者は井上建設です。

館内はバレーコート二面バスケットコート一面がとられるようになっています。又PTAでは設備完実のために二五〇万円を目標に寄附をつのることになっています。

夏の健康管理について

日本の夏のしのぎにくさは熱帯地なみといわれます。高温に加えて国土特有のひどい湿気が、耐えがたいだるさと体力の消耗をもたらします。

それにやりきれないのが汗です。しかし、汗は私達の体温を調節しているもので、もし汗が出なければ気温が高くなる。と同時に体温も上り熱いお風呂から出ることができない苦しさと同様の目に合います。内臓も血行の働きも力がつきてしまいます。このように汗をかくことにより、熱を体外に出しています。汗一グラムについて〇、五八五カロリーが外へ排出されているのです。汗をかくことは必要なことでありながら、一方体力の消耗ももたらすので、これにともう栄養が不足すると、病気に対する抵抗力を失ない、伝染病にかかりやすくなったり、その他の病気の原因ともなり勝ちです。

夏の大きな魅力として、冷たい飲みもの食べものがありますが、冷たくするとお美味しい食物とはあっさりした系統の食べ物で、そうめん、きゅうりもみ、冷ややっこ等で大部分が蛋白質、脂肪、ビタミン類の少ないものです。このようなものが食卓の上を幅をきかせると、まず栄養不足になり、毎日がだるく夏まけをおこし、食欲は減るいっぽうです。又冷たいものは胃のかべを弱らせ、消化不良になるので胃弱を弱らせます。

冷たい食べ物は薬としみとしてとっておき、魚、肉、大豆、レバー油をつかった色の濃い野菜の料理をたくさん食べて下さい。

特に夏はビタミンB₁をこわす糖質（砂糖、でんぷん）はひかえめにしたいものです。

夏の伝染病予防

赤痢……赤痢菌によって汚染された食品又は、汚染された手から口へと感染する。ハエによって伝播される。

予防……

一、大便の衛生的処理二、すべての食品特に湿り気のあるもので、生で食べる場合気をつける。

三、用便後、食前、調理前にはよく手を洗う。

四、下痢は早いうちに医師にかかり検査してもらう。

五、ハエの防除対策。

六、水の衛生的処理。

七、暴飲、暴食、生水を飲まない。

日本脳炎

病源体……日本脳炎、ピールス感染源……コガタアカイエ蚊が仔豚を媒介とする。

症状……頭痛、高い熱が出る、吐き気、うわごとを云う。ひどくなると、けいれんをおこし、昏睡、死亡する。

死亡率が高く、治っても麻ひが残る。

予防……

一、蚊の防除対策、特に豚舎の蚊の駆除

一、予防接種

今年は、日本脳炎の流行年といわれているので気をつけて欲しい。日中はなるべく仕事をさけ、充分休養をとり朝夕の涼しい時に作業する。直射日光に当らないよう帽子をかぶる。規則正しい生活をするよう心がける。特に夜更かしをしないこと。

夏かぜ

軽い頭痛や鼻水が出たりする子供の場合知らぬうちに治ってしまうこともあるが、ゆだんは大敵で、夏かぜのピールスが、時には髄膜脳炎をおこすことがある。危険な年令は四、五才で七八才に多いものです。

予防 病冷え、過労をさけて身体に抵抗力をつける。

日射病の応急手当

風通しのよい場所にうつし、着物をぬがし、冷たい水を全身にかける、次に頭と心臓を冷やす。気がついたらコップ一杯に小さじ一杯の食塩を入れた冷たい水を飲ます。気がついてもやたらに動かさずしばらくは安静にさせておく。真夏の強い日射しをうけないよう、かならず帽子をかぶって作業すること。特に子供はつい遊びに無中になって目に当りすぎて日射病をおこすことがあるので、とくに気をつけて下さい。

昭和41年度 一般会計歳入歳出予算

（歳入）

費目	金額	率
	千円	%
町税	19,747	8.7
地方交付税	81,200	35.9
分担金及負担金	20,361	9.0
国庫支出金	38,711	17.1
県支出金	29,866	13.2
町債	29,500	13.0
その他	7,012	3.1
計	226,397	100

（歳出）

費目	金額	率
		%
議会費	4,263	1.9
総務費	26,795	11.8
民生費	20,643	9.1
衛生費	4,433	2.0
労働費	8,875	3.9
農林水産業費	52,609	23.2
商工費	750	0.3
土木費	28,052	12.4
消防費	2,366	1.1
教育費	33,852	15.0
災害復旧費	19,783	8.7
公債費	20,148	8.9
その他	3,828	1.7
計	226,397	100

区長さん
＝ごくろうさまです＝

わたくしたちのお世話をして下さる区長は次の方々です。

町と住民とのかけ橋となって働いて下さる大切な役目を持っているのが区長さんです。おいそがしい所ご苦労さまです。

大浜 泉信吉
中ノ浜 石崎長治
仁田ノ浜 山口誼
河内 大森文太郎
湊浦 加藤惣一
湊浦二 村上清春
小中浦 清水房一
伊方越 門田俊男
亀浦 宮木一弘
中浦 宮部恵
川永田 福田平知
川永田二 小泉久
豊ノ浦 井上康敬
奥橘 新一
向 川内春市
畑 畑木春好
須賀 渡辺利喜馬
久保 井上階喜
西 高野只重
二見 山田正明
加周 古田武弘
田ノ浦 亜岡憲男
末光 瀧勇
古屋敷 彦
大成 好
鳥津 古田靖

お礼

東宇和郡野村町中筋中学校長の阿部初男氏より千円、福岡県福岡市昭代町二丁目にお住いの西本鉄一氏より二千円、宮崎県宮崎郡田野町、敢木太郎氏より千円、又宮崎県延岡市本町二丁目の宮崎展昌氏より千円、それぞれ、広報編集の費用にと御寄附いただきました。

紙上より厚く御礼申し上げますとともに、御健康と御奮斗をお祈り申し上げます。

危険個所の補強や点検を

＝台風シーズンを迎えて＝

例年七月頃から台風シーズンを迎えます。昨年中全国でおこった風水害（台風、大雨、強風、高潮）による被害状況はおそるべきものとなっています。

そこで各家庭でもそれぞれの立場でしゅうぶんな事前準備をおこない、被害をできるだけなくするようとりわけ、以下の点について注意してください。

一、台風が接近したら……

ラジオ、テレビなどによる気象通報にたえず注意するとともに、次の点を検討しておくこと。

㈠自宅の周囲の地形をよく知っておく。

風水害で特に恐ろしいのは大水や高潮であるから、海面や川の堤防の高さより低いところに住んでいる人は、早目に避難できるよう準備しておく。

㈡避難場所への道路をよく知っておく。

㈢附近の水はけ状態をよく知っておく。

溝にゴミがたまると家屋に浸水するから、土地の低いところでは下水溝をよくさらって水はけをよくしておく。

また、屋根がわら、木材、看板煙突などが風とばされて、通行人がケガをするおそれがあるから風でとぶおそれのあるものはよくかたずける。

二、避難命令がでたら……

まず火の始末と戸締りを完全にするほか、次の点に注意すること。

㈠女の人はスラックスなど活動しやすい服装をする。

㈡一人だけで勝手な行動をしないで、家族や近所の人がかたまって避難する。

㈢避難するときに、警察官や消防団員の指示に従って落着いて行動し早く避難場所まで到着できるよう心がける。

㈣あらかじめ非常袋のようなものに、必要な食糧、着替えの衣類、水筒に入れた飲料水、医薬品、懐中電灯、トランジスターラジオなど、余分な荷物にならない程度のものを用意しておく、また現金、印鑑、貯金通帳など大切なものは肌身につけるようにする。

三、台風が去ったあとは次のことに注意すること。

㈠浸水した場合は長期間浸水しないことが多く、このため伝染病が蔓延するおそれがあるので、消毒や予防接種は必ず受けるようにする。たとえ一時的な浸水であっても、床下などの通用をよくして湿気をとりのぞき、家の囲りをよく消毒しておく。

㈡切れた電線を発見したときは、勝手に処理しないで、直ちに電力会社が駐在所へ連絡する。

㈢新しい技術を習うたゆ、職場で職場適応訓練を受ける人に、手当を支給するなどの各種の措置があります。

以上のように中高年令者のあっ帯では、失業者があるという工合で、このように供給地から需要地に移転する人に対し、移転資金の支給、住宅のあっ施等を行ないます。

㈣日本の工業地帯は主要都市に集中していて、労働力が不足しているのに、愛媛県のような後進地帯では、失業者があるという工合で、このように供給地から需要地に移転する人に対し、移転資金の支給、住宅のあっ施等を行ないます。

㈤職場適応訓練を受ける人に、手当を支給します。

中高年令者の就職について

中高年令者とは一体何か。ここから話をすすめて行くのが一番わかり易いと思います。

この頃よく中高年令者な技術革新による企業の合理化に伴い、技能労働力があまって、矢業者が出るという傾向があり、そのため技能労働者を再教育し、技能労働力として役立せる必要があります。

即ち、何も腕に職を持たない中高年の労働者を再教育し、最新設備の企業に再就職させ、労働力の労働需要の重大な課題となってきたわけです。

このため、国としても種々の援護方法を考えていますので、その二、三を次に紹介します。

㈠技能を身につけるため、職業訓練所において職業訓練を行ないます。勿論無料で、その間の生活保障のため、ある程度の手当を支給します。

㈡日本の工業地帯は主要都市に集中していて、労働力が不足しているのに、愛媛県のような後進地帯では、失業者があるという工合で、このように供給地から需要地に移転する人に対し、移転資金の支給、住宅のあっ施等を行ないます。

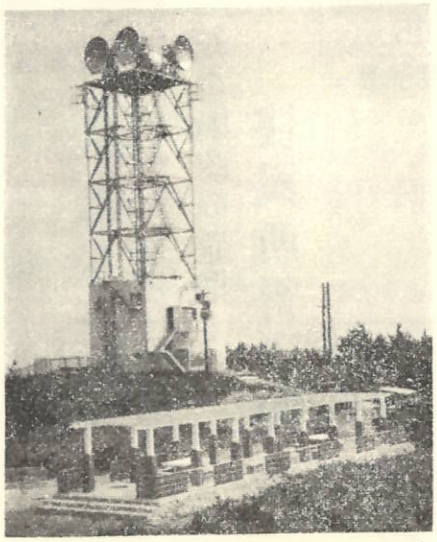
㈢新しい技術を習うたゆ、職場で職場適応訓練を受ける人に、手当を支給するなどの各種の措置があります。

以上のように中高年令者のあっ帯では、失業者があるという工合で、このように供給地から需要地に移転する人に対し、移転資金の支給、住宅のあっ施等を行ないます。

御相談のある人は、職業安定所に来られて遠慮なくどしどし申し出で下さるようお願いします。

納涼にどうぞ

＝堂々山公園へ＝



完成した堂々山公園の休憩所

ます ます 活発になった 愛護班

伊方、町見両地区の近況

子供のしあわせと、よい子の育成を念じて、地域の親達が中核となって結ばれた愛護班は、今年の四月現在九十九班一〇三名の大成果に見るべきものがあった。特に男子指導者の参加が多かったことは、今後の発展に大きな礎となろう「

町見地区でも、各部落の愛護班を結集して町見地区愛護班協議会の結成を八月上旬に持つことになった。これが実現すれば、町見地区の愛護班の組織活動は一段と強力になり、町一本の愛護班協議会も結成することが出来よう。こうなれば、愛護班活動は一層社会教育振興の上に大きな担手となろう。

日酷暑のなか、終日愛護班長その他の指導者が一堂に会して、自費自作、自演の研修会を開き、その成果に見るべきものがあった。特

夏の献立

梅雨があけて急に暑くなって来ると食慾がなくなり、あっさりしたお茶漬や、口あたりのよい冷麦等が好まれるので、動物蛋白質（魚や肉）脂肪、ビタミン類が不足し、栄養が片寄りがちになりますことに夏はビタミンB₁の消費量が多くなるので、なお一層ビタミンB₁の強化が必要とされます。

又有色野菜の出回りが少いためビタミンA、Cが不足してくるので、レバー、トマト、ピーマン、南瓜その他の野菜を充分に食べましょう。

栄養面だけでなく、食中毒の多い時期でもあるので、食品の取扱いについても充分気をつけましょう。

【献立例】

朝ごはん（米、強化米）

みそ汁（なす、とおふ、みそ）

炊め煮（玉ねぎ、人参、ピーマン、油、砂糖、醤油。

昼　三色にぎり（米、強化米、しょうゆ、のり、梅干）

サラダ（きゅうり、玉葱、青豆、トマト、玉子、酢、油、塩、こしょう、化学調味料）

夜ごはん（米、強化米）

魚マリネー（あじ、塩こしょう揚げ油、玉葱、人参、ピーマン醤油、酢、七味唐辛子、砂糖、かぼちゃいため煮（かぼちゃ、青豆、油、砂糖、醤油）

梅酢和え（きゅうり、じゃが芋ソーセージ、梅、砂糖、塩、梅酢）

【作り方】

「サラダ」きゅうりは板づりしてセンチ長さに切り、これを更に四～六つ割りにし、青豆は塩茹でにして、せん切り、トマトは六～八つ割りにし、玉子は茹でて二つ割りにする。玉葱はうすい輪切りにし、水にはなしておく。酢、油を三対三位の割に混ぜ、塩こしょう、化学調味料、好みで砂糖を加えよくまぜて酢油ソースを作り、上の材料にかけて食べる。

「魚マリネー」あじは、塩こしょうして油で揚げる。玉葱、ピーマンは、うすい輪切りにする。醤油、酢、七味唐辛子、少量の砂糖をまぜ、火にかけてさっと沸かし、材料を全部冷まして漬け込む。

「梅酢あえ」きゅうりはせん切りにして、さっと塩もみし、じゃが芋、ソーセージはせん切りにしてさっと茹でる。梅をつぶし、塩、種をのけ、少量の梅酢と砂糖、塩をまぜ、きゅうり、じゃが芋、ソーセージを和える。

重なる栄光に輝く町中生の大沢美喜子さん

今回は教科書に

大沢さんが町見中学校の二年生の時「安全の日によせて」の応募作文が、瀬尾文部大臣賞を受けた。それは昭和三十八年十二月二十四日であった。まもなく立派な賞状と賞時計が届けられた。あとで聞いた話だが大沢さんは全国第一位だった。今その賞状は母校の栄誉を記念して校長室に掲げられている。所がい、と、無造作な髪をかき上げながら、よろこびと、決意の程を語った。

さて問題の作文だが、教科書に採用されたものは修正して却って味が失せているので原文のままを掲げる。

「国民安全の日」によせて

二年　大沢美喜子

赤い旗が、田んぼのそこそこに朝風になびいています。昨日のホリドール撒布による注意信号です。「安全」「安全」これは私たちの生活に最も必要な事であり、私たちが求めている大きな目標でもあると思います。

でも「安全」ということがあまりにも強く言われるせいか〝あんぜん〟ということが、かえって軽くみられているようにさえ感じられることがあります。それは生活が急激に変化したり、日々があまりにも忙がしかったりして、つい大事な〝安全べん〟の操作を忘れたり間違えたりして、取り返しのつかないことをしたり、他人に迷惑をかけたりすることになるのではないかと思います。日々の交通事故はもとより、かけくすれ、ガス爆発、落ばん等、工場、事業場等の大きな事故から、農薬から、農薬等のくるいろいろな間違い。この間は電気洗濯機の魅力によって小さい子供の生命を奪われたというニュース。

そんな遠方の事でなく、学校内においても毎日なにかはありますが、くぎで足の指先を傷めたとか、廊下や運動場で行き当ったとか、つい先日は針が足にささって、それ程痛くてさっと茹でる。梅を つぶし、種をのけ、少量の梅酢と砂糖、塩をまぜ、きゅうり、じゃが芋、ソーセージを和える。

押しピンを踏んだとか、廊下や運動場で行き当ったとか、つい先日は針が足にささって、それ程痛くてさっと茹でる。梅を つぶし、種をのけ、少量の梅酢と砂糖、塩をまぜ、きゅうり、じゃが芋、ソーセージを和える。

農村といえば、昔は平和そのものであるといわれていたそうですが、今は都会に負けないくらい、事なことではないでしょうか。

その他、あれもこれも限りなく危険なことがあると思いますが自分の関係していることは、よりよく知ると共に、ちょっとの事でもよく注意してどんなしておくことが安全かという事を、いつも考えて見ることが大切だと思います。

国語の教科書に「何ごともする前に一歩しりそいて〝ちょっと待て〟と言って考えてみることだ」と、書いてありました。私たちはその気持で常に心の安全べんに気をとめ、赤ちゃんから老年寄までの人の生命をもっとも大切にしたいものだと思います。

いことなので嬉しさ一杯です。今後もこの道に精進したい」と感激そのものの言った。又町見中学の国語主任の依田先生は「美喜子さんは、見た所叙情的な性格でこんな科学的な論説文が書けるとは意外だった。女らしさの中に一つしんがあるのでしょう。これからもこの性格を持ち続け、一生文学を愛好してもらいたい。私としても第一第三の大沢さんが出るように掲げられている。所がい、と、無造作な髪をかき上げながら、よろこびと、決意の程を語った。

会社である学校図書株式会社発行の中学校三年生用の国語の本に、論説文の模範文例として採用された。文部大臣賞といい、教科書掲載といい、全国まれな二重の栄光に美喜子さんは頬をそめて「今回も全く予期しなかった。つき指から、足のねんざ、数えあげたらきりがないくらいです。けがをしたら、すぐ保健係がひどくなると生命を捨てるから、マスクをかけたり、風上からかけねばならないと、普段人の方が言われたそうです。良い品物を作りが、少し重いのになると医院へ連れて行きます。先生の単車や、近所のリヤカーを借ったりして。

それぞれのけがや、事故はどうしてもしようのない時もありますが、多くは不注意によるようです。たとえば針がささったこと等その針を皆が始末していればささらないのです。又自転車の二人乗り等で落ちて大けがをする場合があります。それは「二人乗りは絶対いけない」というきまりを破ったからです。それで皆が気をつけてけがをしないようにすると共に事故のもとになるものが一つでも少なくなるよう協力する事だと思います。

それから軒先で落ちかかった瓦等、母はよく「あれは危ないな」と言います。これなども本当に危ないと思います。それから煙突の掃除等も、安全を守るためには大事なことではないでしょうか。

その他、あれもこれも限りなく危険なことがあると思いますが自分の関係していることは、よりよく知ると共に、ちょっとの事でもよく注意してどんなしておくことが安全かという事を、いつも考えて見ることが大切だと思います。

国語の教科書に「何ごともする前に一歩しりそいて〝ちょっと待て〟と言って考えてみることだ」と、書いてありました。私たちはその気持で常に心の安全べんに気をとめ、赤ちゃんから老年寄までの人の生命をもっとも大切にしたいものだと思います。